

酒田コミュニケーションポート（仮称）整備基本計画



知（地）のアリーナ

山形県酒田市

(10代 女性 冬・平日の一日)

朝、友達と学校に行く。学校で授業を受ける。16時半に学校を出て、ライブラリーセンターの中にあるオシャレなカフェで友達とおしゃべりして、1時間ほどしたら、近くのラーメン屋で夜ご飯としてラーメンを食べる。(ライブラリーセンターに駅周辺のラーメンガイドがあるので、それを見て行く。)

ラーメンを食べた後、ライブラリーセンターに戻り、友達と終電まで一緒に教え合いながら勉強する。

電車が発車する15分前にライブラリーセンターを出てみると、クリスマスシーズンなので、赤、緑のイルミネーションがきれいで、友達と写真を撮って帰る!

(40代 男性 休日の一)

今日は妻が友達とランチに行くということなので、6歳の娘と2人でデート(子守り)。なるべく節約したいので、ライブラリーセンターに出かけた。

子ども図書を選んでいると、子どもコーナーで紙芝居の読み聞かせをされていて、娘も興味を持っていた。聞くと3歳以上は、コーナーに置いていっていいらしい。娘をコーナーに置いて、自分は大好きな作家の小説を探しに行く。本を持って子どもコーナーに隣接した読書コーナーでゆっくり本を読んだ。隣の子どものコーナーからは笑い声が聞こえる……。30分経過……。

お昼になったので、コンビニでおにぎりを買って、広場の芝生に座って娘と食事。午後3時まで紙芝居があったらしく、午後3時までライブラリーで過ごした。

ゆっくりした幸せな一日だなあ……。

あなたが、将来酒田コミュニケーションポート(仮称)で過ごす

ある一日のストーリー

(60代中頃 男性 今から10年後)

小春日和の日、よちよち歩きの孫を連れて酒田コミュニケーションポートに出かけた。

広場には、子どもたちを連れてきたお母さん、お父さんたちが、たくさん。思い思いに子どもを、そして親同士が楽しんでいる。私も混ぜてもらおうことにしよう。

しばらくして、気になる新刊を探しに図書館へ。その途中、岸洋子、成田三樹夫の映像が流れていた。若いお父さんに、「この人、誰?」「カッコいい」と言われ、説明する。それをきっかけに、本や雑誌を数冊借り、数人で好きな飲み物を片手に酒田トーク。いつの日か再会を誓って、帰宅。

(30代 女性 ある休日)

近く、遠方から友人が酒田に遊びに来るので、最近の最新観光情報を知りたくて、コミュニケーションポートを利用。最新のおススメツアーなど(体験型で酒田を楽しめる)の情報を観光情報センターで教えてもらい、酒田に来て10年が経つ自分自身も満足する。新しい酒田を発見!

併設されている産直・物産コーナーをぶらぶら見ながら、まずはライブラリーセンターへ、しばし読書。気に入った図書を借りる。

帰り際、先ほど見た産直コーナーで、夕飯の食材(地元産)と新作の日本酒(試飲して気に入ったもの)を購入。カフェで図書を読みながら一服して、帰宅。

※第3回市民ワークショップの最後に、将来酒田コミュニケーションポート(仮称)でどのように1日を過ごしたかを参加者に考えてもらったストーリーの一部です。

目次

はじめに	3
1 これまでの経過	4
(1) 施設整備の経緯	4
(2) 酒田コミュニケーションポートの整備の方針	6
2 基本計画策定の目的	7
3 基本計画の位置付け	8
(1) まちづくり全体に関わる計画	8
(2) 関連する主な個別計画	9
4 本市の現状	15
(1) 地勢・交通	15
(2) 人口	15
(3) 歴史・文化	17
(4) 産業・観光	17
(5) 教育	18
(6) 広域圏形成	18
5 市立図書館・酒田駅前観光案内所の現状・課題	20
(1) 市立図書館	20
(2) 酒田駅前観光案内所	22
6 市民意見等の状況	24
(1) 市民アンケート調査結果	24
(2) 高校生アンケート調査結果	29
(3) 市民ワークショップ結果	30
(4) 高校生ワークショップ結果	34
(5) 各団体等意見交換結果	35
7 基本理念	37
8 基本方針	38
9 機能別サービス、整備方針	39
(1) ライブラリーセンター	39
(2) カフェ	49
(3) 観光情報センター	50
(4) 広場	52

(5) 駐車場	53
(6) バスベイ	54
(7) その他	55
10 施設計画	56
(1) 施設整備の基本的な考え方	56
(2) 施設全体の構成・計画に対する留意事項	56
(3) 地域産業支援基本方針及び木材利用促進基本方針に基づく整備の推進	59
(4) 施設各機能の計画の留意事項	59
11 管理運営計画	61
(1) 開館時間及び休館日	61
(2) 運営組織	63
(3) 運営形態	64
(4) 事業計画及び評価	64
(5) 民間施設、周辺関係機関等との連携	64
12 人材の確保及び育成	65
13 市民とともに歩み、成長していく施設づくりを目指して	66
14 事業スケジュール	67
資料編	68